

新橋説明会概要

2月21日（火）に地区センター研修室において、「新小谷橋建設進捗状況説明会」が開催されました。

この説明会は、羽田地区自治協議会主催により開催され、講師に岩手県県南振興局土木部道路整備課主査熊谷利明氏を招き行われました。当日は、6時半から資料に基づき40名の出席者を前に説明いただきました。

主な内容は、新規建設に至った経緯、橋の歴史、計画概要、事業工程、工事状況、新小谷橋の基本コンセプト、デザイン、事業の見える化の推進、ILCと小谷木橋についてでした。

県から定期的に「新小谷木橋NEWS」が発行されていますので参照願います。

アドレスは、<http://www.pref.iwate.jp/kennan/doboku/45920/index.html>

説明会で出された質問を紹介します。

Q：397号線との接続が未だはっきりしないが。勾配はきつくなるのか。雪でも登れるか。

A：安全も考慮した勾配にする。新しい道路をくぐり行き来できるようにする。

Q：消防車の出入りは大丈夫か。段差はないね。

A：基本的には今の道路の高さとなる。

Q：旧国道の道路はどうなるのか。

A：もともとフラットにして階段を作る予定だったが通行の仕方の説明会を開催する。

Q：市道を国道に切り替える説明会をしてほしい。

A：可能である。

Q：新橋建設に伴い周辺がこのように変わりますよという説明もだが旧道の解体に関しても説明会を実施して欲しい。こうなったという説明でなく、「地域の人付き合い」を守れるような形でやってほしい。

A：4月に説明会を予定している。計画が固まる前に相談します。旧橋撤去は新橋ができてからの相談となる。

Q：新橋建設後も歩行者や自転車が通れるのか。

A：

Q：北上側の流れを変えることはできないか。本流が堤防を削り洪水をもたらすことも考えられる。人首川と北上側が合流することで流れが変化、強くなる。地元の要請をなんとか考慮願いたい。堤防の決壊、水害予防になるのです。

A：こうすると答えられない。国土交通省に伝えます。

Q：消防団としては水防対を運ぶ道路があることが望ましいと考えている。車で運べないと困る。

A：

Q：397号線の本線は変わらないのか。

A：奥州市と話を詰めていくことになる。

Q：堤防は通れないのか。水沢から来たとき右折できないのか。

A：国土交通省と協議したときには無理と言われたが、図面を見ながら確認したい。

Q：旧道はすぐ交通止めとなるか。歩行者や自転車は通行可能か。

A：仮に新橋の完成が春、夏ならある期間は通行可能となるかもしれない。撤去工事が秋から冬となるので。